



復元すすむ

国内最大級の家形埴輪

いえがたはにわ

町教育委員会では、昨年6月から9月にかけて発掘調査を実施しました、富士山古墳の埴輪の復元作業を行っています。

その結果、二棟の家形埴輪を確認し、国内では最大級の家形埴輪であることがわかりました。

(関連記事P.2、3)

組み合わせ式入母屋造り家形埴輪 (屋根下半部以下の本体)

# 富士山古墳から

# 国内最大級の家形埴輪出土



(富士山古墳全景)

## 富士山古墳のついで

富士山古墳は、羽生田地内の北部にある直径86mの栃木県内最大の円墳です。古墳は丘の上に、南を望むようにつくられています。富士山古墳西側の丘の上には、国指定史跡の茶臼山古墳（前方後円墳）があります。両古墳とも以前から大きな埴輪をもつ古墳として知られていましたが、今回の発掘調査で裏付けることができました。

富士山古墳がつくられたのは、埴輪や土器の研究から今から約1,500年前ごろの時代と考えられますが、誰が埋葬されているのかは分かっていません。しかし、これほど大きな塚をつくり、塚の回りに巨大な埴輪を並べることができたことから羽生田の地を中心広い地域を治めていた人物が葬られていると考えられます。

### 組み合わせ式

いりもや

### 入母屋造りの家形埴輪

出土した組み合わせ式入母屋造り家形埴輪は、屋根下半部以下の本体（下写真A）と屋根上半部（下写真B）とを別個につくり、別々に焼き上げた後、組み合わせることからこのように呼ばれています。

屋根の部分には三角紋が描かれ、赤、黒、無地の模様が規則正しく色付けされています。壁の両側には窓と思われる長方形の穴も開けられています。全体の高さは168cmもあり、まさに大王の家にふさわしい巨大な家形埴輪です。

## 組合せ式入母屋造り家形埴輪

A

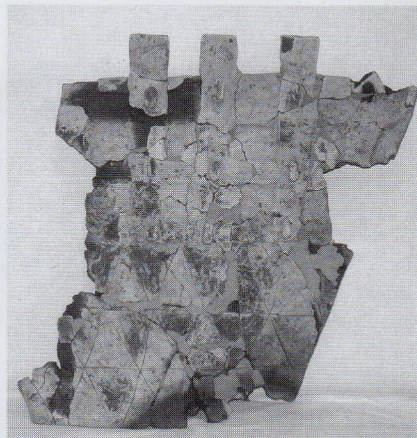


入母屋造り家形埴輪（本体）

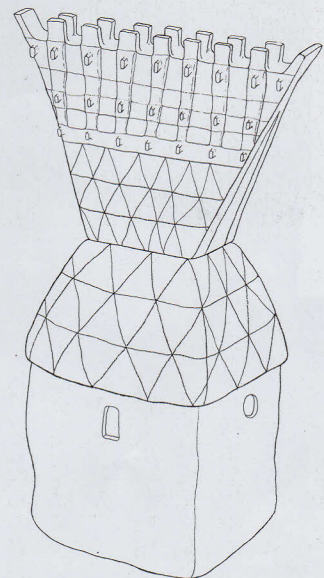
B

+

組み合わせる



（屋根上半部）



（復元図）

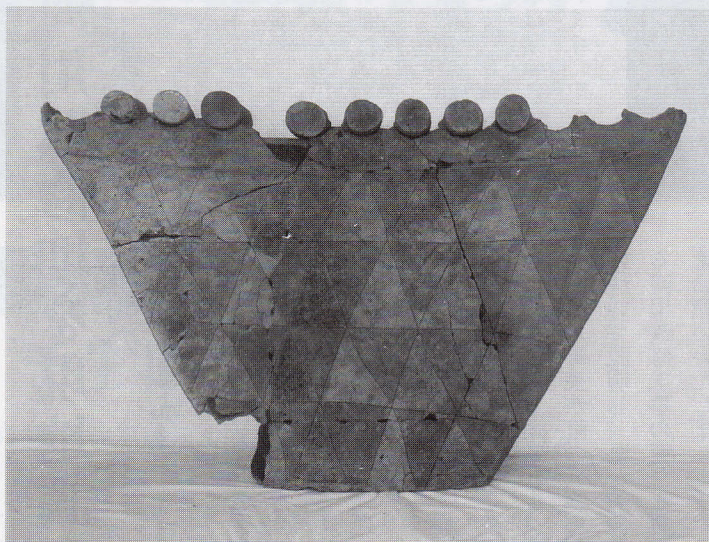
# 円柱をもつ家形埴輪

合計12本の柱をもつ、二階屋の建物です。屋根の上半部（左写真C）には三角紋が全面に描かれ、赤と黒の色彩が交互に施されています。また、色彩も約1、500年前前に描かれたとは思えないほどに鮮やかに残っています。

この建物には壁がなく、また、屋根の上には「堅魚木<sup>（注①）</sup>」がのっていることから人の住まいというより特別なまつりなどに使われた家

をまねてつくったと考えられており、全国的にも非常に珍しい家形埴輪です。（下復元図参照、建物本体部分は現在復元中）  
 全体的な大きさは、先の家形埴輪よりは小さいと思われませんが、それでも150cmは越える巨大な埴輪となります。  
 （注①「堅魚木<sup>（注①）</sup>かつお木」  
 神社建築などで棟木の上に直角に並べておく円柱上の飾り木）

## C 円柱をもつ家形埴輪の屋根



上に乗っているのが堅魚木（かつお木）

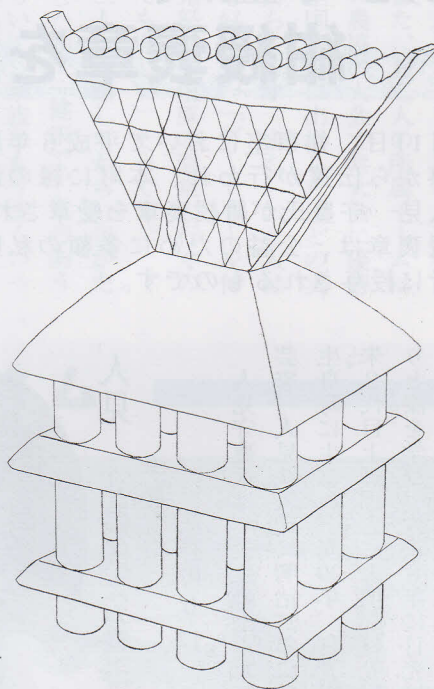
## 円筒埴輪列出土

昨年の発掘調査時にも、塚の廻りに5百本以上並んでいると推定される円筒埴輪も出土しました。



円筒埴輪列の出土状況

円柱をもつ家形埴輪（復元図）



### ◆まとめ

今回の発掘調査によって、富士山古墳は県内では最大の円墳であることが確認されるとともに、ほぼ完全な形の家形埴輪を発見できたことなど大きな成果を得ることができました。家形埴輪は当時の家をまねてつくっているため、その当時の権力者がどのような家に住んでいたかという手掛かりを現在の私たちに与えてくれます。

また、今回の調査では、家形埴輪の他に、さしば（高貴なひとのさしかけたうちわ）や盾をまねた埴輪なども発見されています。いずれの埴輪も当時、古墳にたてられていた場所から出土しているため、富士山古墳全体にどのように埴輪がたてられていたかを復元することも可能となりました。

このように、今回の発掘調査では予想を上回るさまざまな資料を得ることができました。今後、町教育委員会ではこれらの資料をもとに富士山古墳の保護に役立てていきたいと考えています。

なお、町歴史民俗資料館では今回出土した埴輪の復元作業を進めています。今後家形埴輪以上に珍しい埴輪が復元されるかもしれません。復元作業の過程は町広報等で随時お知らせして行く予定です。

# 黒川河川改修地を現地調査

東雲橋～藤井橋間の整備促進を要望

栃木県議会土木委員会（阿久津憲二委員長ほか8名）と県関係者の一行が7月21日、黒川河川改修地（壬生・藤井地区）の現地調査のために訪れました。

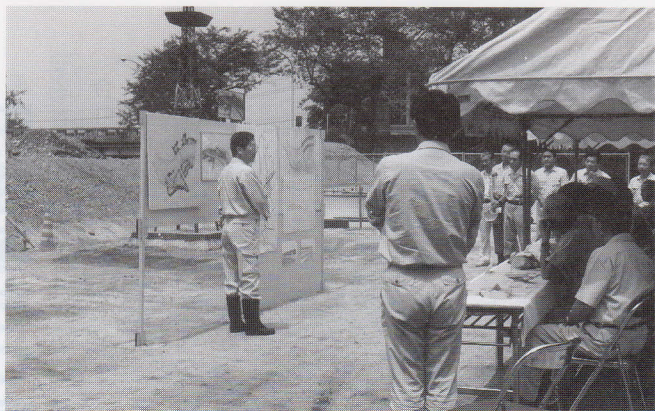
調査箇所は黒川の東雲橋と藤井橋との間（1,600m）に位置し、堤の桜並木は県の名勝百選にも指定されています。町では、東

雲公園を観光地的要素を持った公園として整備する計画を立てていますが、今回の調査はそれと一体化した河川改修の整備促進を要望するものです。

この日は、清水町長ほか町執行部をはじめ、町議会から荒川副議長、鈴木建設水道常任委員長が出席、清水町長が町の公園整備計画について説明し、県が実施している河川改修工事の更なる整備促進をお願いいたしました。

このほかに、次の4か所も早期着工を要望しています。

- ① [道路改良]  
鯉沼・国谷の県道羽生田・上蒲生線 延長1,000m
- ② [道路改良]  
今井の県道宇都宮・栃木線 延長1,950m
- ③ [道路改良]  
国谷の県道宇都宮・栃木線 延長2,000m
- ④ [橋梁整備]  
国道352号線の黒川に架かる東雲橋の架け替え



委員に説明を行う町長

## 人見 守豊氏 紺綬褒章を受章

7月11日、知事室において平成6年度の褒章受章者に知事から伝達が行われ、本町に縁の深い宇都宮市在住の人見 守豊氏が紺綬褒章を受章されました。

紺綬褒章は、公益のために多額の私財を寄付された功労者に授与されるものです。

受賞者のみなさん



### 教育功労者を表彰

## 壬生町教育文化祭

町の教育功労者を表彰する壬生町教育文化祭が7月15日、壬生中央公民館で開催され、関係者や来賓の方々など約70人が出席しました。

この教育文化祭は3年ごとにおこなわれており、町内に20年以上勤続された教育関係者や学校医の方をはじめ、教育振興のために金品を寄付された方、本町を最後に

退職された教職員の方など、町の教育発展に大きく貢献された25名の方々が表彰され、清水町長から賞状と記念品が贈られました。

式のあとには、元壬生町英語指導手のフェリシテイ・エセイム先生による講演会が行われ、「私の日本感」と題したお話に出席者のみなさんは興味深く聞き入っていました。

### 紺綬褒章



人見 守豊氏 (74歳)

宇都宮市

江野町6-12

人見守豊氏は、壬生の生んだ漆芸家、人見城民氏（明治27年に壬生舟町に生まれ、同39年、日光堆朱2代目上野桐恵に入門、日光彫りと漆を学び、大正8年に日光堆朱3代目を継ぎ、大正年間には2度の皇室献上するなど、戦前、戦

後を通じて日光堆朱の第一人者として活躍。昭和35年には栃木県文化功労章を受賞）の長男で、昨年の7月～8月にかけて城民の生誕100年を記念し町歴史民俗資料館で催された「第4回特別展・人見城民展」を機に、「父は生前、壬生町を愛し、城民の名前も壬生城の民という意味でつけたものが、父の作品が壬生町に戻るものが、父としても一番うれしいと思います」ということで、城民の作品、瀧二雕硯屏など日光堆朱15点の作品を町に寄贈されました。

なお、寄贈された作品は、町歴史民俗資料館に常設展示されています。

# 警告!

## 町内の交通事故が著しく増加

# 交通安全は家庭の会話から

### ☆交通事故発生状況(1月～7月15日現在)

	壬生町(対前年比)	栃木警察署(対前年比)
人身事故件数	166(+36)	733(+34)
死亡者数	5(+3)	12(△9)
負傷者数	195(+33)	910(+39)

先に発表された、県内の平成6年上半期の交通事故発生状況は、発生件数6,822件(前年比88件減)、死亡者数131人(前年比30人減)、負傷者数8,423人(前年比143人減)と、大変良好に推移しています。

しかし、壬生町の交通事故発生状況(7月15日現在)は、人身事故件数166件(前年比36件増)、死亡者数5人(前年比3人増)、負傷者数195人(前年比33人増)と、一転して厳しい状況になっています。

いつ、どんなかたちで、わが身にふりかかってくるかもしれないのが交通事故です。

どうすれば交通事故を防ぐことができるのか、家族みんなで話し合ってみましょう。

### 違う立場から

### 話し合おう

「交通安全は家庭から」といわれるように、「家族」の中にはドライバーとしてのお父さんやお兄さん、ミニバイクに乗るお母さん、自転車に乗る子どもたち、そして歩行者としてのお年寄り、交通



安全を考えるうえで、それぞれ違う立場のメンバーがそろっています。

そこで、お父さんやお母さんが中心となって、交通安全について話し合う時間を作ってください。

日ごろ、交通安全についてどんなことを気をつけているか、どうすれば事故を防ぐことができるのか、それぞれの違う立場から話し合ってみてください。

### 日ごろの行動を

### チェックしよう

いままでの「ヒヤッ」とした体験や、日ごろの反省なども含め、お互いに交通安全のチェックをし

てみましょう。それは、交通安全についての意識を高め、通ルールやマナーを身につけることにもつながります。

家庭での何気ない会話のなか

に、いままで気がつかなかったことや新しい発見があり、それらが今後の家族の交通安全にきつと役立つことでしょう。



## 交通安全を呼びかける

夏の無謀運転追放運動期間中の7月18日、町及び町交通安全協会・交通指導員・交通安全母の会・女性ドライバークラブでは、栃木警察署の協力を得て、壬生バイパスとおもちゃのまちジャスコ前において、交通事故防止を呼びかける街頭指導を行いました。

これは、町内で多発する交通事故防止とシートベルトの正しい着用を道行くドライバー一人ひとりに呼びかけました。



街頭指導の様子

# 経営事項審査を申請される皆さまへ

経営事項審査が次のように改正になりますので、取り扱いにご注意ください。

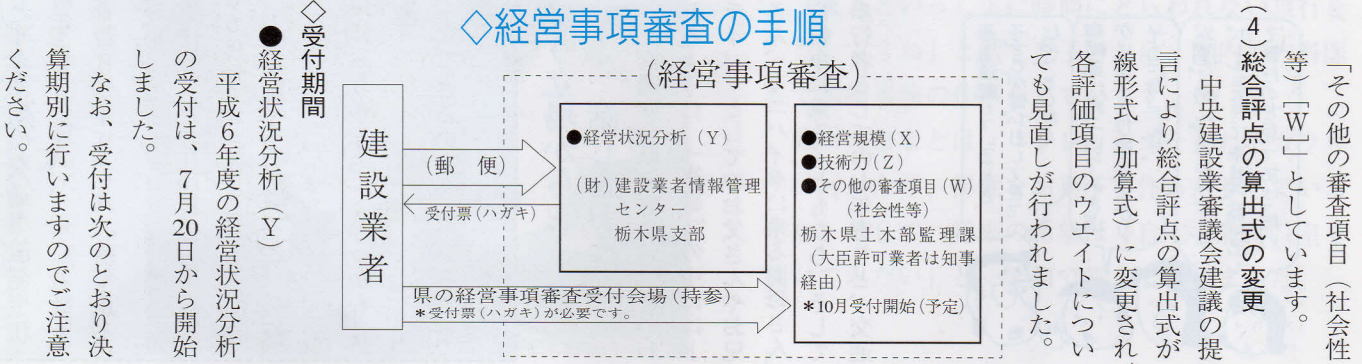
## ◆経営事項審査の

### 主要な改正点

- (1) 審査締切日の廃止  
1月14日の審査締切日が廃止され、行政庁及び指定経営状況分析機関が経営事項審査、経営状況分析の申請の時期及び方法を定め、その内容を公示しなければならぬことになりました。
- (2) 審査基準日の変更  
審査基準日は現行の「10月1日」から「申請者が経営事項審査を申請する日の直前の決算終了日」（決算日）に変更されました。
- (3) 新たな審査項目の追加  
主観的評価事項としていた「労働福祉の状況」及び「工事の安全実績」が客観化され、全国統一の審査項目として新たに追加されました。

これら新たに追加された審査項目に従来からの「営業年数の評価」を合わせたものを

## ◆経営事項審査の手順



## ◆経営事項審査 (X、Z、W)

受付は決算期別に第1期、第2期に分けて行う予定です。

決算期	受付期間
平成5年10月～平成6年6月	平成6年10月開始予定 (第1期)
平成6年7月～平成6年9月	平成6年12月 (第2期)

\*審査会場及び期日詳細等については、後日栃木県よりお知らせします。

決算期	受付期間
平成5年10月～12月 (個人業者を含む) 平成6年1月～3月	平成6年7月20日～平成6年8月31日まで
平成6年4月～6月	平成6年9月30日まで
平成6年7月～9月	平成6年11月30日まで

\*9月決算の業者の方で県の審査期日までに決算が修了しない場合は、審査期日前(ただし、提出期限は12月16日とする)に県監理課あてにその旨の文書を提出することにより、1月の特例審査を受けることができます。

### ○審査手数料

1業種 10、450円

(1業種追加することにより、350円を加算)

### ○納付方法

・知事許可業者

・大臣許可業者  
栃木県収入証紙

収入印紙

### ◆財務諸表の作成上の注意

財務諸表は、消費税の経理処理方式が「税抜経理」により作成されたものに限ります。

### ◆申請用紙の販売

経営状況分析 (Y) の申請用紙は7月中旬、経営事項審査 (X、Z、W) の申請用紙は8月下旬から次のところでも取り扱いがあります。

### ○納付方法

郵便振替又は銀行振込  
栃木県建設業協会  
宇都宮市梁瀬町1958-1

☎0286-392611

または、各支部

### ◆問合せ先

○経営事項審査全般及びX、Z、W

・県土木部監理課建設係

☎0286-232390

○経営状況分析 (Y)

・(財)建設業情報管理センター

栃木県支部

☎0286-392321

# 夏祭りカメライラストスケッチ

①



りりしくも華やかな女御輿



当番町（舟町）の力強い御輿渡御

## 八坂祭 にぎわう 7月7日～16日



華をそえた七夕飾り

新しくなった  
当番町（舟町）の屋台



城東町の子供会育成会（栗原浩会長）と老人クラブ「緑風クラブ」（荒川栄一会長）では7月3日、東武線壬生駅前通りに長さ約10メートルの七夕飾りを4本飾りました。この七夕飾りは八坂祭の期間中の10日まで飾られ、通行人の目を楽しませました。

### 城東町育成会&老人クラブ 壬生駅前通りに 七夕飾り



茅の輪くぐり  
7月31日、雷雨のなか、雄琴神社に大勢の参拝客が訪れ、茅の輪をくぐって無病息災を祈りました。

## 生活活動に合ったエネルギーを

日常生活の中で、体を動かすことが少なくなった今日、消費するエネルギーも少なくなり、余分なエネルギーが蓄積され、肥満を招きやすい環境にあります。

肥満を予防するには、昔から腹八分目といわれていますが、食べ過ぎに注意し、普段から自分の体重に関心を持つことが必要です。

### <減食のポイント>

1. 低エネルギー食品を用いてボリューム感を出す。
2. 朝食を充実させる。
3. 副菜（生野菜サラダや汁物など）を先に食べて、ある程度の満腹感を得る。
4. よく噛んで、ゆっくり食べる。

ところで、自分の活動量に見合った食事量をとることが基本ですが、活動量の少ない人が、それに見合った食事量に抑えると食物の選択の幅が狭くなり、食生活がたいへん窮屈になってしまいますし、蛋白質・ビタミン・ミネラルなどの必要な栄養素の不足をきたす心配もあります。

ですから、日ごろから積極的に体を動かしてエネルギー消費量を高め、食事内容にゆとりをもたせるよう努めましょう。1日に200Kcalのエネルギーを消費すると、食事の内容に楽しみが広がり、体力も向上します。めやすとして、ジョギング(160m/分)や縄とびなら20分位で200Kcalを消費し、通勤や買物での歩行なら1時間程度で200Kcal、少しゆっくり歩くと、1時間で160Kcalのエネルギーを消費します。



# STOP AIDS

## 考えてみませんか！

お子さんの性教育・エイズ教育を

壬生町エイズ教育（性教育）推進委員会

### エイズ教育の授業が行われました。

6月から7月にかけて、町内各校で小学4年生、中学1年生、高校1年生を対象にエイズの授業が行われました。

子どもの発達に応じて、エイズについて、何を、どのように教えたらいいか、をそれぞれの学校で十分に検討したうえでの実践です。なれない内容のため、教える先生方にも多くのとまどいがありましたが、「子どもたちが自分の問題としてエイズを考えられるようにしましょう」を合言葉に進めてきた研究の成果です。

壬生小学校では、4年生が「血液のはたらきと病気」について学習しました。

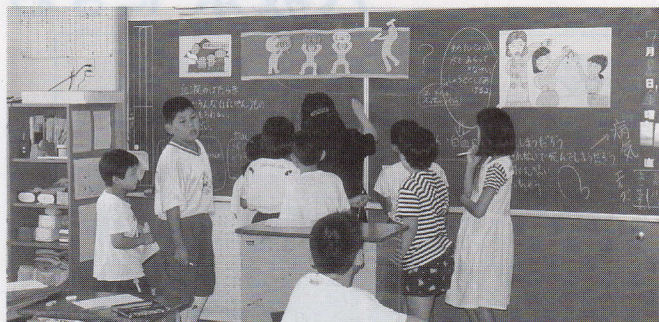
○血液には・酸素や栄養分を運ぶ働き・傷口を塞ぐ働き・病原菌をこらす働きがあること。

○エイズは血液を介してうつる病気であること。

○血液がついたら水で洗うこと。

などが主な内容でした。子どもたちは、先生の用意したVTRや、図書室の本を活用してエイズについて活発に調べていました。

改善点もいくつかありましたが、子ども一人ひとりが熱心に取り組み、参観した先生方を感心させていました。



〔エイズ教育授業のようす（壬生小学校）〕

壬生中学校では1年生の全クラスが「エイズを知る」という授業を展開しました。

○エイズは世界で、日本で、県内で多くの感染者を出していること。

○HIVは免疫の仕組みを破壊してしまうこと。

○エイズはいろいろな合併症を引き起こすこと。

○HIVは日常生活では感染しないこと。

について、グループ毎にかなり詳しく調べ、その発表会をしました。「エイズと言う病気のことがよく理解できた。でも普通の生活をしていれば感染しないことが分かったので安心した。」といった子どもの感想が聞かれ、指導にあたった先生方もエイズ教育の手応えを強く感じ取っていました。

## エイズ ミニ知識 その6

監修 栃木県伝染病予防調査協議会会長  
栃木県連合学校保健会会長  
松本 幸三

### エイズ感染の状況

全国及び栃木県の平成6年4月末現在のエイズ感染の状況をお知らせします。

	感染者数	性 別	
		男	女
全 国	1,546 (810)	848 (237)	698 (573)
栃 木 県	33 (23)	10 (2)	23 (21)

- ・凝固因子製剤（血液製剤）による感染者は除きます。
- ・（ ）内の数値は外国人です。

全国的な傾向としては、次のことがあげられます。

- ・国内での異性間の性的接触による感染が増えていること。
- ・日本在住の外国人の感染が減少する反面、日本人の感染が増えていること。

一方、栃木県の状況のみをみますと、県内在住者でHIV感染が確認されたのは左の表のように33名です。感染の傾向としては、全国のそれと同じようですが、感染者の数をみると、都道府県別では第9位、人口10万人の割合で見ると第6位となり、憂慮すべき状況です。

今後、より一層、県民のエイズへの関心の高まりと、児童生徒とのエイズ教育への主体的な取り組みが期待されます。

# 小学校陸上競技大会

壬生町学校体育連盟主催の小学校陸上競技大会が7月1日、町総合運動場で開かれました。

大会は、町内各小学校の選抜選手、5年生(男・女)と6年生(男・女)が出場し、5種目により競技が行われました。

なお、この大会の記録上位者は、郡大会および県民中央スポーツ大会(9月25日)に出場します。

## 大会成績

◆5年生男子		100m走 1位	佐藤 宏美(壬小)	15秒33	
野口 洋輔(安小)	15秒00	200m走 1位	佐藤 宏美(壬小)	32秒30	
金村 拓郎(東小)	31秒44	走り幅跳び 1位	戸崎 貴幸(壬小)	3分23秒07	
1000m走 1位	細井 祐輔(壬小)	3分34秒90	走り幅跳び 1位	柄目 直人(安小)	422cm
走り幅跳び 1位	野口 洋輔(安小)	392cm	清水 恵美(羽小)	2分50秒07	
走り高跳び 1位	小島 一人(壬小)	115cm	清水 恵美(羽小)	359cm	
◆5年生女子	200m走 1位	柄目 直人(安小)	28秒20		
走り高跳び 1位	大森 俊(安小)	13秒93			
	◆6年生男子	100m走 1位	大橋亜加利(壬小)	31秒51	
	長谷川美香(壬小)	105cm	小川 麻美(安小)	2分45秒89	
	走り高跳び 1位	高橋 里美(稲小)	402cm		
	走り幅跳び 1位	高橋 里美(稲小)	402cm		

走り高跳び 1位  
長谷川久子(東小) 120cm



## 『耕人の魂ここに成る』

### 11年の歳月をかけ

### 羽生田圃場整備が完了

羽生田土地改良区(高山 宝理事長)の竣工式及び建碑の除幕式が7月20日、稲見県農村整備課長をはじめとする関係機関の方々や清水町長ほか関係職員など来賓多数が出席のもと行われました。

本事業は、近代的な農業経営にふさわしい生産基盤とすべく、昭和57年に壬生町で最初の県営圃場

整備事業として工事に着手し、11年の歳月を要し、事業の竣工を迎えました。

羽生田土地改良区は、町の北西部に位置し、二方からの沢地により構成され、整理前の水田は区画の不整形や屈曲した道水路のため作業機械の搬入搬出・作業能率の低下など多大な労力を費やしてい

ました。

この圃場整備事業により区画整理、農地の集団化がなされ、経営の合理化・機械化による生産性の向上が図られ、近代的な農業が行われるようになりました。

### ◆羽生田地区

### 県営圃場整備事業

○期間 昭和57年度

平成5年度(11年間)

○事業量

- ・区域面積 92 ha
- ・水路延長 27、217 m
- ・道路延長 10、896 m
- ・暗渠排水 34 ha

○事業費 8億8千7百万円  
○組合員 180戸



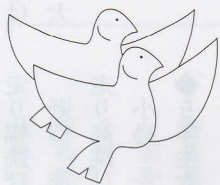
建碑の除幕式のようす

# い 広 場

## 青春スケッチ 39



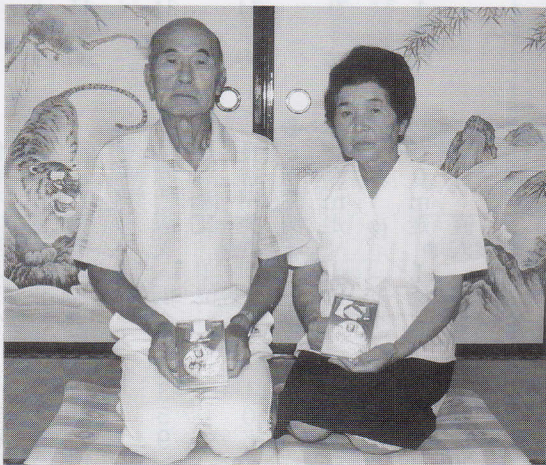
### お達者 カップル



⑥7北小林 かつてる  
渡辺 功光さん(79) 夫妻  
シヅさん(73)

「趣味などに一生懸命取り組むのが好きですね」という渡辺さんご夫妻。功光さんは、昭和57年か

ら北小林第一老人クラブの会長さんをしています。功光さんは菊を育てるのが好き

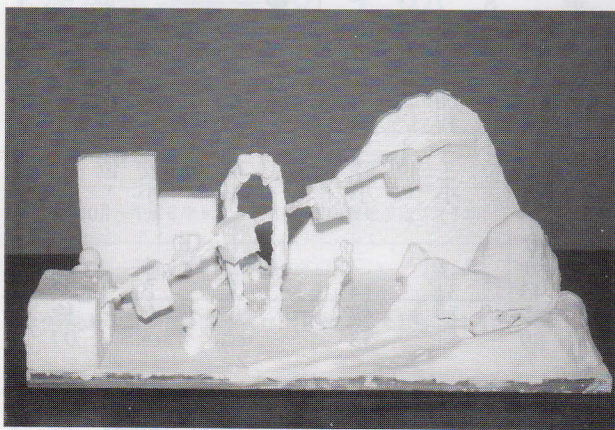


### 着付教室を開いてみたい

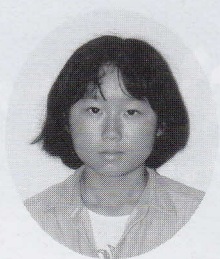
幸町一丁目 森 光子さん

「友人といっしょに時間にとらわれない旅行をしたいですね」と話す光子さんは、町内の内科医院で医療事務の仕事をしています。

休みの日などは、リフレッシュを兼ねてカラオケに行ったり、得意なお菓子を作ったりしているとか。そして、将来の希望は「自宅で着付教室を開いてみたい」と、笑顔で答えてくれました。



「白い風景画」  
壬生北小学校6年  
吉沢 藍



壬生北小学校3年  
朝日 庸介



### 私の作品

# ふれあ

優勝の壬生北クラブ



## 学童少女ソフトボール大会

### 壬生北クラブが優勝

第13回壬生町学童少女ソフトボール大会が6月26日、7月2日の二日間にわたり、町総合運動場で行われました。

大会には、町内の学童少女6チームが参加し熱戦が展開され、壬生北クラブと安塚フロンティアとの決勝戦になり、1点を争う好ゲームの結果、5対4で壬生北クラブが優勝しました。

#### 成績

優勝 壬生北クラブ  
準優勝 安塚フロンティア  
3位 藤井クラブ

なお、上位3チームは、7月30日から行われた第22回県学童少女ソフトボール大会に出場、壬生北クラブは、準決勝に駒を進め奥沢ヴィーナソフト(大田原)と決勝進出をかけ対戦しましたが、惜しくも敗れ決勝進出はなりませんでした。

で、約80鉢の菊を栽培しています。毎年11月に中央公民館で行われる菊花会のコンテストにはかかさず出展しており、最優等賞や優等賞を何度も受賞しています。「コンテストの日にあわせて菊を一番よい状態にするのが難しいですね」と功光さんは話してくださいました。また、菊花会の友人と一緒にいろいろな所へ菊を見に行くことも多いそうです。

で、週2回の練習と月4回の交流試合にはほとんど参加しています。また、お二人の所属チームは昨年の農協の大会で県大会に優勝し、全国大会に出場したほどの実力の持ち主です。また、お二人は温泉も好きで、「ゲートボール仲間と鬼怒川や塩原の温泉に行くのがとても楽しい」そうです。お二人が結婚してから51年がたちましたが、「健康で、気のあう仲間もいて、家族ともうまくいっていますし、最高に幸せですね」とお二人は嬉しそうに話してくださいました。

## チビっ子アルバム

舞<sup>まい</sup>

ちゃん(1歳・2女)

(父) 三浦 久之さん

(母) 〃 法子さん

(万 町)

お母さんから一言

兄妹なかよく元気でやさしい子に育ってね。



まいこ  
麻衣子ちゃん(2歳・2女)

(父) 秋谷 文明さん

(母) 〃 順子さん

(六美町南部第一)

お母さんから一言

元気でやさしい子に育ってほしいです。

# 原水爆禁止

## 国民平和大行進来庁

1994年国民平和大行進栃木  
県実行委員会の原水爆禁止・国民



平和大行進が7月3日から県内の各市町村を行進、本町には7月12日来庁、清水町長の出迎えを受けました。

この国民平和大行進は、広島、長崎に原爆が投下されてから、来年で半世紀を迎えるにもかかわらず、世界には多くの核兵器が保有されているといわれる今日、核兵器のない平和な世界の実現を求めて5月7日に北海道を出発し、8月3日の広島まで全国各地を行進しました。

## 昔ながらの

### かんぴょうむきを体験

五町教育委員会（壬生町、上三川町、南河内町、石橋町、国分寺町）主催の五町合同文化財巡回展（かんぴょうその伝来と生産の歩み）が7月7日～17日まで南大飼地区公民館で開かれました。

これは、広域的な文化財の認識を深め文化財愛護思想を旨とするために行われているもので、今回は、栃木県南部地域が一大生産地となっているかんぴょうがテーマ。か



手カンナによるかんぴょうむきに挑戦



班旗を作成することもたち

んぴょうのルーツやかんぴょうむき機の移り変わりなどが展示されました。

また、7月13日には安塚小3年生が、昔のかんぴょうの作り方を学ぼうと手カンナを使ったかんぴょうむきを体験、かんぴょうは見たことがあっても、かんぴょうをむくのや手カンナを見るのも初めてで苦労しながら真剣に取り組んでいました。

## 児童文化教室

### 楽しいキャンプも体験

町教育委員会・町子供会育成会連絡協議会（栗原 浩会長）共催の児童文化教室（宿泊研修）が7月28日から30日までの3日間、嘉陽が丘ふれあい広場に、町内の小学校から68名の子どもたちが参加して行われました。

同教室は、宿泊研修を通して「自然に親しむ子ども」、「心も体も強い子ども」、「仲よくくらせる

子ども」を育てていこうと毎年開催されているもので、初日は班旗の作成や野外炊飯、2日目はウォークラリーと自然観察、キャンプファイヤー、そして最終日がスパーキックベースボールなどに町子連役員さんやJLCの皆さんの指導のもと、楽しい中にも実り多い3日間となりました。

## 食中毒を予防しよう

### 食品衛生講習会を開く

壬生町食品衛生協会（橋本 茂会長）では、食中毒の季節に対処

するため7月13日、壬生中央公民館で食品衛生講習会を開き、会員約380名が出席して、食中毒予防の勉強をしました。

席上、平成6年の優良店舗として「並木屋（木村キミ）」、「けやき（篠崎 清）」の2店が表彰されました。



講習会には、宇都宮短期大学附属高等学校講師渡邊恒夫先生の「食中毒と食品全般にわたる取り扱い」についての講演があり、参加者のみなさんはメモをとりながら熱心に聴き入っていました。

# タンカー模型(壬生丸)と

## 直筆の掛軸を寄贈

兵庫県相生市在住の浅井義之さんが7月25日、役場を訪れ「子どもたちの学習に役立ててください」と、オイルタンカー(壬生丸)の模型と浅井さん直筆の掛軸を寄贈されました。

浅井さんは、壬生町の出身で壬生で過ごした少年時代の楽しい思い出を1冊の本にした「ふるさと四季—壬生町・昭和初めごろ—」を昨年の6月にも120

冊寄贈されています。

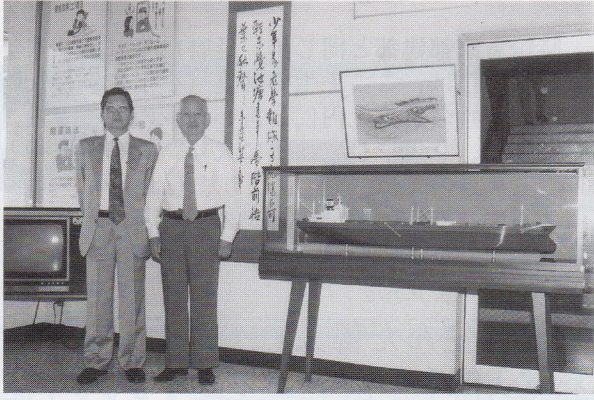
この度は、「海のない壬生の子どもたちにタンカーについて知ってもらい、大きな夢をもってもらいたい」と、元の職場の石川島播磨重工業の協力を得て、長さ274m、73,000トンの2百分の1の大きさで、長さ1・3mのタンカーを「壬生丸」と命名して寄贈されたものです。

また、タンカーと併せて、浅井さん直筆の有名な朱熹の詩「勸学」七言絶句の掛軸もいっしょにいただきました。

タンカー模型は、順次町内8小学校を巡回し、壬生小学校に永く展示され子どもたちの学習に役たされます。

なお、掛軸には次のように書かれています。

少年易老學難成  
一寸光陰不可輕  
未覺池塘春草夢  
階前梧葉已秋聲



タンカーの模型と掛軸を寄贈された浅井さん(右)と清水町長

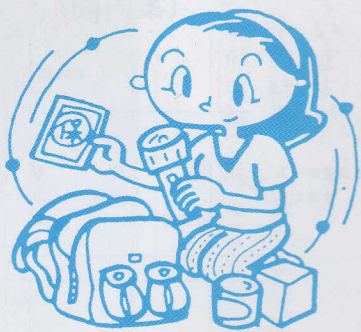
### 【説明】

少しの間でも学問をおさめることなく油断していると、少年時代と違っていても、いつの間にか日がたつて年老いてしまう。

池の堤の春の草花をいつまでも楽しみながら夢うつつでいると、いつの間にか階段の前(庭先)にあるアオギリの葉にはすでに秋風が吹いている。

「光陰矢の如し」である。

## 河川の増水時にそなえ 水防演習に汗を流す



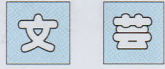
7月3日、壬生町消防団(梁島安男団長、団員203名)による水防演習が羽生田黒川橋下の河川敷で行われました。

この水防演習は、豪雨などによる河川の増水時に洪水の発生を未然に防ぐためのもので、2年に1度、全団員による訓練が行われています。

うだるような暑さのなか、団員たちは石橋地区消防組合職員の指導のもとで、玉のような汗をかきながら、土の積みや木流しなどの訓練に取り組みました。



木流しに取り組み団員



文化協会文芸部選



### 短歌

幾たびも寝がえりうてど眠られぬ  
明日は遠出の旅に立つのに

和久井 香

襲いくる睡魔如何ともならず  
同じ頁を読みすすまぬ

石井 ヒロ

亡き父の形見はこれとひとり決め  
どうだんつじ刈込んでいる

黒尾 壮

目のさめるようなコバルト朝顔に  
米の研ぎ汁たつぷりやりぬ

神林 文恵

### 俳句

炎天に鉄塔のぼるヘルメット

鈴木佳世子

蝉しぐれ学童疎開の遠き日も

梁島 福城

鷺草の気ままに風と戯むるる

深津 ハナ

薬害の陸稲に詫びて追肥す

海老沼勲一

地域交流ホームせせらぎ



## 「地域交流ホーム せせらぎ」の利用について

せせらぎ学園では、これまで地域の方々との交流事業として、リトミック教室や老人クラブとの交流会、子ども会との運動会などを行ってまいりました。

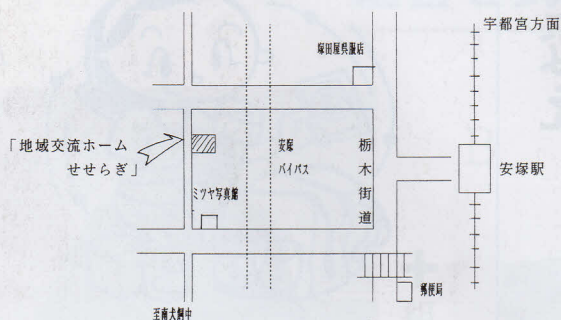
このたび、これら交流事業のほかに、地域の方々の会議や集会等にもご利用いただくことを目的とした「地域交流ホーム せせらぎ」が完成いたしました。

つきましては、次のような内容で運営いたしますので、多くの方々にご利用くださるようお願い致します。

- ◇利用時間 午前10時～午後5時
- ◇休館日 日曜祝祭日、学園長が定めた日
- ◇施設内容
  - ・ホール(146.64㎡)
  - ・会議室(64.80㎡)
  - ・和室(12畳)
- ◇利用料金 無料
- ◇利用申込み・問合せ先  
せせらぎ学園(壬生町大字安塚2032)

☎ 86-0059

(案内図)



### まちのうごき

8月1日現在

総人口	39,965人	( 15 )
男	19,730人	( 9 )
女	20,235人	( 6 )
世帯数	12,175世帯	(△ 2)
		( ) 内は前月比

● 国民健康保険税 (3期)  
● 国民年金 (9月分)

(納期限 9月30日)

納期限間際は、納付窓口が大変込み合います。早めに納付しましょう。

### 9月の納税等

金7千902円 <sup>③⑤</sup>	am・pm壬生本丸店様	金5千883円 <sup>②</sup>	渡辺寅八様
金2千233円 <sup>①①</sup>	糸川ひさ様	金5千500円 <sup>⑧</sup>	社交ダンスを楽しむ会様
金1万円 <sup>③</sup>	荒川重利様	金7千339円 <sup>③④</sup>	渡辺寅八様
金5千500円 <sup>①</sup>	遠山嬉治様	金7千339円 <sup>③④</sup>	渡辺寅八様

### 寄付

(社会福祉協議会)  
(○数字は寄付回数)

時恰も京都建都と同じ年、延暦13年(794年)に、慈覚大師円仁は、ここ壬生の御里(小字名、現大師町)に生まれ、俗姓名を壬生円仁と言い幼少のころから「神童」の誉れ高く、9歳にして仏門に入り、厳しい修行と学問に励み、三代目の天台宗座主になりました。

この間、世界の3大旅行記の一つと言われる「<sup>にっぽうくわう</sup>唐求法巡礼行記」を著すなど、数々の文化興隆に尽くした業績は少なくありません。

## 郷土が生んだ偉人

## 慈覚大師(壬生円仁)生誕1200年記念事業

## ふるさと発見 大師まつり

◇とき 10月29日(土)～11月3日(木)

◇ところ 壬生町城址公園・歴史民俗資料館ほか

◇各種催し

### ふるさと発見

○ウォークラリー

散策コース「ふるさと ふれあい みぶの道」

・10月30日(日)

・散策コース15カ所の内10カ所程度のハーフコースで実施

○産業まつり

・11月3日(文化の日)

・城址公園駐車場

### ふれあいを求めて

○イベント広場

・10月29(午後)・30日、11月3日

・城址公園

・ミニSL列車、ファファ、キャラクターショー、売店など

○パレード

・10月30日(日)

・壬生大通り

・屋台、女性みこし、かんぴょう踊りなど

### 歴史と文化を訪ねて

○「壬生円仁」特別展

・10月16日～11月20日

・歴史民俗資料館

○文化講演会

・10月29日(土)

・瀬戸内 寂聴先生

○企画展記念講演

・10月30日(日)

・成城大学教授 佐伯有清先生

○バスツアー町民号 「みちのく歴史旅」

◇詳しくは、今後、広報みぶおしらせ版・新聞折り込みでお知らせします。

壬生町観光協会〔役場商工観光課内(☎82-1234)〕